

第一経理 ニュース

Daiichi Keiri
NETWORK

<http://www.daiichi-keiri.co.jp>

2020

No.740

12

■ 4つの「経営理念」

- ① 私たちは納税者の権利を守り中小企業と国民を大事にする税制をめざします。
- ② 私たちは中小企業のよい会社づくりを通してお客様の満足を目指します。
- ③ 私たちは身近でかけがえのないコンサルタントをめざします。
- ④ 私たちはお互いに成長し、豊かさを創造する職場づくりをめざします。

PICK UP

会社訪問インタビュー

幹部社員から社長へ 事業承継から会社の発展を考える

門脇建設工業株式会社 代表取締役 駒 順一 氏

- 三〇条の言い分 1
- 会社訪問インタビュー 2
- 税務調査最前線 4
- コロナ下で考える 5
- 老松凜の事件簿 6
- わたしの〇〇 7
- 業種別景況分析 7
- INFORMATION 8



遙かなる まなびや 学舎の恋 冬木立 (作:加藤素美)

季語…冬木立 場所…あきるの市 旧郡立秋川高校跡

三〇条の言い分

子宝に恵まれなかった。30代後半から不妊治療を始めて、2年くらい頑張ったがダメだった。その間に新車1台分くらいのお金が消えていった。どうしても子どもと一緒に生活をしたかった。そこで、里親をやりうと思いい立ち、県が行う研修会に何度か行き、2歳以下の子が入る乳児院で研修を行った。委託される子どもが決まり、毎週その子の元に通った。その子の実親は貧困からネット詐欺を行い、収監されているとのことだった。他にもひとり親でうつ病になり、育てられないと委託された子、

育児放棄された子、障害のある子、たくさんの子がいた。ホワイトボードには、乳児院に入所を待つ子どもの数が書いてあった。いつも10人は下らなかった。

社会のひずみは、いつも一番弱者に襲いかかる。先日、空港のトイレで出産した赤ちゃんを窒息させて殺害した事件がセンセーショナルに伝えられた。その母はどんな気持ちで、一人でそんな決断に至ったのか、興味本位ではなく、今の社会に何が足りないのかを考えられる人でありたい。(深沢)

会社訪問
インタビュー

門協建設工業株式会社
代表取締役 駒 順一様

幹部社員から社長へ 事業承継から 会社の発展を考える 第一経理と共に歩む未来へ

会社を存続していくために、
どこかで必ず、成し遂げなければならないこと。
それが事業承継です。とはいえ、
頭を悩ませている経営者が多い事案でもあります。
その難問を第一経理の万全のサポートで克服した
埼玉県春日部市の門協建設工業をご紹介します。



前社長との出会いから 幹部社員そして社長へ

埼玉県春日部市に所在する門協建設工業株式会社は昭和57年創業、今年で38年目となる土木工事を主とした建設会社です。外構工事や公共土木工事、一般道路舗装工事などを請け負っています。

前社長（現会長）と知り合ったのは、私の前職でのこと。当時、ある現場で門協建設の前社長とご一緒する機会があったのです。その後転職をし、門協建設に営業に訪れたのがきっかけとなり、前社長とはご縁があったのでしょうか、平成10年に入社することになりました。

入社後は現場管理として勤務していましたが、取締役役に任命された頃から「駒、次はお前だぞ」と言

われ、いつかは経営に携わることになるのかもしれないという予感がありました。でも、そのための準備を始めたのは専務になってからのことでした。

第一経理と弊社のお付き合いは、前社長が創業した頃にさかのぼるそうです。第一経理の存在をはっきりと認識しはじめたのは、専務になったときから。社長教育が始まり、マンツーマンでのレクチャーやセミナー参加など、サポート体制を作っていただきました。

事業承継の決心は 職場を守るという意識

平成30年、事業承継し社長に就任しました。同族外の承継については、前社長も悩んでいたよう



です。なぜ私を指名したのか真意はわかりませんが、意見を求められたら自分の言葉で伝える、私の率直さを認めてくれたのだと思っています。

よく引受けましたね、と周囲からは言われます。もちろん自分に務まる自信はありませんでしたが、私が社長にならなければ、自分の職場を失うことになる。それは絶対に避けたかった。社員みんなのためにも引き受けるべきだと思いました。

現在、弊社のご担当は新井さん。社長に就任して以来、月に1度来社されアドバイスしてくれますが、私も財務についての理解を深めなければと思うようになりました。そんな矢先、新井さんとともに経営者向けのセミナーに参加する機会を得ました。私の会社への思い、それはまず財務基盤の安定を図り、さらに新しいことにチャレンジしていきたいというものです。会社への夢やヴィジョンを棚卸し、中長期計画を立てるといふ、実践的なセミナーでした。終了後、新井さんは、現在の会社の姿と私の夢との「距離」を指摘してくれました。その後は、3か月に1度、新井さんと中小企業診断士の方と話し合い、



アドバイスを受けています。財務をベースに、会社を成長させていくための課題を洗い出し、解決までの道筋を一緒に考えてくれる、第一経理のサポート力にこれからも期待しています。

夢を持って会社を成長へ 第一経理と歩んでいく今

会社を安定させ、さらに発展させていくという夢の実現のためには、まず足元を固めることから肝に銘じています。今の課題は、次期幹部候補をどうやって育てていくかということです。人材問題は業界全体が抱えている課題でもあります。私が社長になったように、責任と夢と一緒に背負ってくれる次世代の人が現れてくれることを願っています。

もっと知りたい 門脇建設工業株式会社

埼玉県春日部市、アーバンパークライン線藤の牛島駅から徒歩圏内に本社を構える門脇建設工業株式会社。大手ゼネコンで土木工事に携わっていた創業者から、2代目社長として承継された駒社長が、30人の社員を率いる。外構工事／舗装工事／土木工事などの各種工事に携わっており、数々の経験で培ったノウハウを用い、様々なプロジェクトへ参加してきた技術力には自信がある。「うちの社員の高い技術力、総合力ではどこにも負けない」と駒社長は胸を張る。

門脇建設工業株式会社

〒344-0011

埼玉県春日部市藤塚 1689-4

TEL : 048-738-5155

<https://www.kadowaki-c.co.jp>

社長の思いを実現するために 第一経理だからできることを提供する

税理士法人 第一経理

相続・資産税事業部 新井 裕司／税理士

駒社長とは、社長就任の準備をされるころからのお付き合いとなります。外部の事業承継はなかなか難しいものですが、スムーズに新社長へ移行できるようにお手伝いしました。社長就任後、共に参加さ

せていただいた集中セミナーで、駒社長の頭の中を整理し、思いを言語化、数量化してもらいました。まずは利益率の向上を図り、事業の見直しを含め検討していく必要があると考えており、3か月に1度、第一経理の中小企業診断士とともにサポートしています。具体的には、1年、3年、5年の経営計画を作成し、駒社長の夢の実現に向けてのアドバイスをさせていただきます。

税務調査 最前線

コロナ禍における 税務調査

調査事例検討委員会

新型コロナウイルス蔓延に伴う緊急事態宣言を受け、税務当局も実地調査を控えていました。中には調査中止となった事案もありました。10月からは感染対策を行ったうえでの実地調査を行うように動きが変わってきました。

コロナ禍の調査特徴点

直近での税務調査の傾向から、税務当局が事前調査をして、指摘事項を見定めたうえで調査に臨んでいるケースが多くあります。現在のコロナ禍においても、実地調査を最低限にし、確実な指摘事項を狙ってくるものと考えられます。

この一年間（R1.7～R2.6）の調査報告の中からお客様にお伝えしたい注意点をピックアップしました。

1. 国外資産に注意

国外にある資産だからと言って、そこから発生する所得を日本で申告しなくてよいという事はありません。日本は全世界所得課税と言って、国外での所得に対しても日本で一定の課税がされます。税務当局は諸外国との租税条約による情報交換から、日本人の所得申告漏れを発見してきます。海外送金を行っている場合は、金融機関から税務当局へ調書が提出されています。税務当局はあの手この手を使い、申告漏れがないかを事前調査しているため、十分に注意してください。

2. 消費税の資料保存に注意

消費税額を控除するためには領収書の保存が必須となります。また、資料の保存に加えて帳簿に一定事項の記載が必要となります。（①支払先の名称②利用年月日③支払内容④支払金額）海外経費や非居住者への支払いについて資料不足が原因で消費税の確認が及ばないケースもありました。領収書はもちろん、請求書や契約書によって税務担当者が消費

税の判定ができるよう、資料の保存にはご注意ください。

3. 扶養親族の確認に注意

税務当局は、扶養親族の所得について、情報を集めています。今回も扶養から外れるだけの所得があるのではないか？と指摘を受けたケースがありました。社員の皆様へ扶養親族を記載する際はその方がどのくらい所得があるのか確認をしてもらうようお願い致します。

4. 簿外通帳に注意

会社や事業の帳簿に記載をしていない通帳に売上を入金させているケースがありました。担当者はもちろん他の会社役員も知らないものでした。税務当局は通帳の取引データや銀行での防犯カメラの映像等で情報を事前に収集しています。この様な通帳が発見された場合には大問題となります。絶対に簿外通帳に売上金を入金するなどという事は行わないでください。

税務調査では、日頃いかに正しい経理処理を行っているかが問われます。きちんとした処理さえしていれば、税務調査は恐れるに足りません。そのためにも弊社税務担当者及び税理士との密な情報交換をお願い致します。

コロナ下で考える

税理士 長谷川 元彦

今年は、まさかの「コロナ」で年が暮れようとしています。8月号に「With コロナ Post コロナを考える」という原稿を書きました。その原稿の検証とその後の展開についてまとめてみたいと思います。

1、パニックは終わった「コロナ下」は長期戦

4-6月のGDPが前年同期比▲8.9%と戦後最大の落ち込みを記録しました。緊急事態宣言が発せられて日本中の動きが止まったのですから致し方ありません。7-9月期は前年同期比▲4.8%と落ち込み戻っていません。お客様などの話を聞くとコロナ前の8割9割といったところです。ワクチン開発の報道がされますが、コロナの影響がなくなるには、数年の単位が必要だと考えます。「コロナ禍」ではなく、日常になるということで「コロナ下」だといえます。

2、コロナ前より進行していたこと

コロナばかりが取り上げられますが、コロナ前から進行していて、経済に影響を与えてきたことを確認したいと思います。①昨年10月から消費税が10%に引き上げられ、消費が落ち込んでいたこと②米中貿易摩擦が激しくなっていたこと、情報通信機器での中国製品の締め出しは継続されるのではないのでしょうか。③少子高齢化の進行。先行き不安から出産が抑制されている報道がされています。コロナに限らず、冷静に見ておく必要があります。

3、コロナ下で進むもの戻るもの

8月号では、コロナ下で「在宅勤務」は20年進む。「国際分業体制」は20年前に戻ると書きました。その後の動きを見ていて、「在宅勤務」の進行はやはり20年くらいのスパンで進むと感じています。ただ、「国際分業体制」について、人の国際交流は20年くらい前に戻ると変わらないのですが、物流の「国際分業体制」は、私の思ったような後戻りはしないで、少し停滞するかもしれないが、新たな仕組みで進むのではないかと感じています

4、一番の変化は、人の生活様式、そして考え方

コロナ下で変化を継続するものは、「非接触型行動」という人の行動様式の変化だと思います。また、それによる生活様式の変化ではないでしょうか。飲食業は、いろいろなアイデアで個々には売上の確保ができるかと思いますが、全体の需要そのものは戻らないのではないのでしょうか。宅配生協の売上が15%増、物流大手の人手不足はさらに増えています。今後の商売を考える上で重要な事です。

そして、働く人の考え方の変化が起きようとしていることを見逃してはいけません。内閣府の調査ですが、全国で在宅ワークを34.6%の人が経験し、その8割が継続を希望しています。また、地方への移住に関心を持つ人が10%弱から24%余りに増えたということです。コロナ下で生活・考え方の変化は継続的に続くのではないのでしょうか。

5、変化に対応した企業のみが生き残る

コロナ下での大きな変化は、今までの常識では測れないことです。印刷業界にDTP（desktop publishing パソコンでの製版）が導入された当時の話を聞く機会がありました。賛成反対様々な意見が交わされたそうです。ただ、数年後事業を継続できなかった経営者がいたそうです。それは、この問題に関心を持たずに、従来の仕事の仕方をそのまま続けた経営者だったそうです。今のところマイナス要因が強調されますが、その中で何が求められているのか、自社の事業とその価値を見直すことのできる企業が生き残ることができるのではないのでしょうか。



新人社労士 老松 凛の 事件簿

第二話
完結編

[前回のあらすじ]

個人で整骨院を開業している60歳代の成田さんという男性が、新人社労士老松を訪ねてきた。相談内容は、妻に障害年金が支給されるかどうかということだった。老松は年金に詳しい、同じ部署の社歴18年になるベテラン女性、深沢に相談することにした。。。

年金請求はまるで人生そのもの

次の日、老松は成田さんをお願いする事項と、必要書類を書き出して、深沢に渡した。深沢は自身は今までに手続きをした年金請求の7つのファイルを持ってきて、老松にいくつかのケースを紹介した。大学生のときから社長で、65歳までおよそ47年間の厚生年金をかけた人の年金額は年間400万円を超える。また、2級の障害年金をもらっていた人の等級が3等級に下がったため、医師の診断書を出しなおさせて、不服審査請求^{※注}で2級に戻せたものもあった。昭和30年代の給与は月2万円程度で、職を転々としている人や何度か結婚して姓が変わっている人もいて、年金請求の仕事は、その人の人生を垣間見るものなのだと感慨深げに深沢は言った。

成田さんの妻の案件は

翌週、成田さんと改めて面会をした老松は、期間照会の結果、成田さんの妻は初診日時点で国民年金の被保険者だったので、障害2級以上に該当すれば、障害基礎年金が受給できることを伝えた。その上で、初診の病院と障害認定日にかかっていた病院、現在にかかっている病院の診断書を依頼し、5年間の時系列と生活状況をヒアリングシートを使って聞き取りした。およそ1ヶ月かかって、すべての書類を整え、管轄の年金事務所に提出した老松は胸をなでおろした。ほどなく、成田さんに申請書受理の報告の電話をかけてこう伝えた。「審査結果までおよそ4ヶ月

かかります。受給決定がされれば、およそ1ヶ月後に年金が支給されます。年金が成田さんの今の厳しい状況の手助けになればと思い、ベストを尽くしました」成田さんは、「ありがとう。若いのに老松さんの共感力には感心するよ。結果が来たら、連絡します」と答えた。

そして未来へ 新人老松が目指す社労士とは

それから数ヶ月が経ち、新人社労士として、日々新しいことに直面する老松は、今日も上司の是枝から新規の案件の説明を受けていた。労働基準監督署の是正勧告対応だ。11月は未払い残業撲滅月間で、労基署の調査が多くなる。と、そこに電話が入った。成田さんからだった。「老松さん、今、郵便で障害年金2級の支給決定通知書が来ました。本当にありがとうございます。これで、何とか生活のめどがつくよ」老松は、こみ上げてくるものを押さえながら「本当によかったです。また、お困りごとがあれば、ご連絡ください」と伝えて電話を切った。早速、老松は、その場にいる是枝に興奮気味に成田さんの支給決定のことを伝えた。報告を聞きながら是枝は、目に涙を浮かべ「老松君、よくやった。社会保障制度は転んでも起き上がれるためにあるんだ。今日の感動を忘れず、困った人に寄り添える社労士になってほしい」と声を震わせながら言った。

おしまい。
(加藤 深雪)

※注 年金の決定に不服があるときは、3ヶ月以内に文書または口頭で、社会保険審査官に審査請求することができます。

※この物語はフィクションであり、登場人物はすべて架空のものです。





～私の旅行～

池袋事務所
小林 舞子



はじめまして。今年の新入社員の小林舞子と申します。

私は旅行が大好きです。両親が旅行好きで、毎年お盆とお正月の家族旅行が恒例です。その影響もあってか、気づけば私も大の旅行好きになっていました。大学の4年間は様々な場所へ足を運びました。国内では北海道・青森・石川・大阪・三重・岡山・徳島・山口・福岡・大分・熊本・沖縄などへ行き、卒業旅行では少し足を伸ばしてヨーロッパにも行きました。アルバイト代で念願の一眼レフカメラを買ってから、写真を撮るのも旅行の楽しみの一つになっています。撮影技術は全くと言っていいほどありませんが、自分の目で見て感動した景色を鮮明に記録できることが嬉しいです。

その中でも印象に残っているのが山口県の名勝、角島大橋です。壮大で、橋の上を流れる雲を見てるとゆっくりと流れる時の流れを感じます。日常の全てを忘れてしばらく眺めていられるような場所です。

今はコロナウイルスの影響でなかなか気軽に旅行に行けないかもしれませんが、ぜひ皆様のお気に入りの絶景スポットも教えてください。

今月の
[6月決算法人]

業種別景況分析

伸び率			業種区分	件数	黒字件数割合	
売上高	人件費	銀行借入金残高			当期	前期
-6%	-0.9%	21%	製造業	12件	50%	58%
-3%	-2%	44%	建設業	46件	70%	83%
-3%	11%	-21%	不動産業	11件	91%	91%
-6%	10%	-3%	卸売・小売業	6件	33%	83%
-26%	-14%	81%	飲食業	3件	0%	33%
-8%	-1%	57%	医療・福祉業	7件	71%	86%
3%	8%	-4%	サービス業&その他業種	27件	59%	81%
-3%	2%	23%	全業種合計	112件	63%	79%

今月のコメント

- ◆ 今月の結果もコロナ禍の実態が表れた結果となりました。ほぼ全ての業種において売上高の伸び率、黒字件数割合が減少し、一方で銀行借入金残高伸び率が上昇しました。
- ◆ 飲食業は件数が僅少のため、本来であればその他業種に含めていましたが、飲食業の状況をより詳しくお伝えするためにあえて掲載しています。
- ◆ 建設業では銀行借入金残高伸び率が+44%となっていますが、積極的な設備投資を行っている会社もあり、数値を牽引しました。
- ◆ サービス業等では売上高の伸び率が+3%ですが、大多数のサンプルがマイナスの伸び率だったのに対し、1社が数値を牽引しました。
- ◆ 医療・福祉業の銀行借入金残高伸び率は計算上数値を牽引したため、金額ベースでは大きく増加したものではありません。

【算出方法】

- ・前期データを100とし、伸び率を算出しています。
- ・売上高と人件費は1社ごとの各伸び率を算出し、サンプル数で平均しています。実態をより正確に反映させるため、イレギュラーな事象によって異常値が出た数値及びサンプルは集計から除外しています。
- ・銀行借入金残高は業種の傾向をより正確に反映させるため、それぞれの全社分を合計し、そこから増減率を計算しています。
- ・対象となるサンプルは前期・当期両方の数値があるもののみを採用しています。
- ・製造業、建設業、不動産業、卸売・小売業、飲食業、医療・福祉業以外の業種はサービス業&その他業種に集約しています。

▶ 次号は7月決算法人の分析です

INFORMATION

DDK DDKコーナー

▶DDK ETCカードのご案内

高速道路利用にあたって、UCカードと提携した法人専用ETCカード(高速利用限定)をお勧めします。①カードごとの月高速利用額に対し割引、②車両名義を問わない、等のメリットがあります。

▶小規模共済ご加入のおすすめ

小規模企業の従業員の皆さんの退職金制度です。掛金は全額課税対象所得から控除、共済金の受取は一時払、分割払又は一時払と分割払の併用から選択できるなどの特色があります。

▶経営セーフティ共済ご加入を

経営セーフティ共済とは、取引先に不測の事態が生じた際に、掛金総額の10倍の範囲内で、無担保・無保証人・無利子の貸付が受けられる制度です。掛金は、税法上損金(法人)または必要経費(個人事業)に算入できます。

▶労働保険事務組合のご利用を

事業主に代わり様々な事務(従業員の入社・退社の手続き、労働保険料の計算・申告・納付)をお引き受けします。事務組合を利用すると①社長も労災保険に加入できる(特別加入制度)、②保険料を3回に分けて納めることができるなどのメリットがあります。

●お申込み・問い合わせは ☎03(3980)8298



加藤素美様へ御礼



2010年新年号から11年間、表紙の写真を提供くださいました。高い撮影技術はさることながら、どの写真にもセンスがあふれ洗練されており、毎号表紙に彩りを与えてくださいました。また、写真に添えられた俳句も趣がありました。今号をもって、加藤様の写真と俳句が最後の掲載となります。11年間、本当にありがとうございました。

次号より、表紙のデザインが新しくなります。表紙を飾る写真は弊社社員が撮影したものです。加藤様、今後とも第一經理ニュースをよろしくお願ひ致します。重ねて厚く御礼を申し上げます。



新入社員の紹介



さとう ふみえ
佐藤 史恵

11月24日入社

(第一コンサルティング)



すずき けんじ
鈴木 健児

11月24日入社

(第一コンサルティング)

よろしくお願ひいたします

一・一会コーナー

一・一会年会費(納入のお願ひ)

本年度(2020年10月~2021年9月)の一・一会年会費納入のお知らせを郵送させていただきます。

一・一会の事業活動は、皆様からの会費によって運営しております。

同封の振込票またはご案内文に記載しております銀行口座にてご納入くださいます様お願ひ申し上げます。

募集!

自社PRしてみませんか?

第一經理ニュースの取材にご協力いただけるお客様を募集します! 詳細やご応募いただける場合は、各担当者までお知らせください。なお、取材先は弊社顧問先様に限定させていただきます。

●自社ではこんなことに取り組んでいる ●あの時が分岐点だった ●新しい商品やサービスを開発した ●自社の歴史を振り返ってみたい ...などのテーマや切り口を中心に取材いたします。ページ数は内容等に応じて検討させていただきます。



皆様のご応募を
お待ちしております!

放言三昧

犬と暮らし始めた。元々私自身も好きだったが飼うのは難しいだろうと思っていたところ、妻の猛烈なブッシュとプレゼンに圧倒された形だ。カニンヘンダックスというミニチュアダックスより更に小型の種。現在、生後5ヶ月ほどで、とにかく可愛い。

一緒に暮らしていると、言葉がわからなくても犬の伝えたいことがわかるようになってきた。嬉しいとき、寂しいとき、言うことを聞きたくないとき。個人的に特に面白いのは特別なオヤツをあげたときだ。大喜びするかと思いきや、クーン...クーン

ン...と不安そうに鳴きながら隠し場所を探すのだ。なかなか良い場所が無くて困ってる姿がとても愛おしい。

犬特有の感情なのかと思ったが、よく考えてみれば人間でもいきなり高額なものを取得して、更にそれを狙っている人がいるかもしれないという状態になれば喜びより不安の方が大きくなるかもしれない、と納得。ちゃんと相手の立場で考えれば、例え言葉が通じない相手でも感情を理解してあげることができるものだなあ、などと思う今日この頃。

(三十路)